

| | |
|--------|---|
| ID No. | 3016 |
| 研究課題名 | iPS細胞を用いた顆粒球・単球・樹状細胞系細胞の分化・機能探索に関する研究 |
| 研究代表者 | 森尾 友宏 (東京医科歯科大学・教授) |
| 研究組織 | |
| 受入教員 | 大津 真 (東京大学医科学研究所・准教授) |
| 研究分担者 | 熊木 恵里 (東京医科歯科大学・大学院生) |
| | 岡村 美湖 (東京医科歯科大学・大学院生) |
| | 岡野 翼 (東京医科歯科大学・大学院生) |
| | 山下 基 (東京医科歯科大学・大学院生) |
| | 小野真太郎 (東京医科歯科大学・大学院生) |
| | Lin Huan-Ting (東京大学医科学研究所・学術支援専門職員) |
| 研究報告 | <p>(1) 新規B細胞・樹状細胞欠損症責任遺伝子産物 (IFN関連制御分子) の発現制御、機能解析</p> <p>昨年度まで何度か試みていたiPS細胞の樹立に成功した。今回は凍結末梢血単核球をそのまま使い、iPS細胞を誘導した。解析の結果、BCR, TCR再構成は認めなかった。また単球系への分化研究も進めることができた。来年度中には大きな成果が上がるものと予想される。</p> <p>(2) PAPA症候群のiPS細胞由来好中球機能解析</p> <p>大津真博士の確立した顆粒球系・単球 (樹状細胞) 系への分化システムを利用して、大学院生の熊木がPSTPIP1異常症からのiPS細胞を用いて、機能解析を行った。末梢血からの好中球機能解析は、数少ない患者から採血後短時間で行う必要があるが、iPS細胞の利用により、多次元解析が行えるようになった。</p> <p>OMICS解析も進み、来年度以降に大きな成果が上がることを期待される。</p> <p>(3) 原因不明のGMDC系分化異常症での分化・機能異常解析</p> <p>家族・患者検体を用いて全エクソン解析を行った。現時点で1家系で責任遺伝子が同定され、iPS細胞樹立の準備を行った。</p> |